

令和3年度 第6回広島市感染症対策協議会

- 【日 時】 令和4年1月17日（月）19:00～20:00
【場 所】 広島市役所 14 階第 7 会議室（Web 会議）
【出席者】 小林 正夫、坂口 剛正、大毛 宏喜、石川 暢久、高橋 宏明、佐藤 貴、
新甲 さなえ、堂面 政俊、増田 裕久、南 心司

1 感染症に関する最近の情報

（1）新型コロナウイルス感染症に係る対応等について（資料 1 P1～29）

全国で新規感染者数が急速に増加している。特に、広島県、山口県、沖縄県は感染者が急増しており、3県は1月9日から1月31日までまん延防止等重点措置が適用されることとなった。

広島県は、まん延防止等重点措置の適用を受けて、飲食店へ時短営業、酒類の提供を行わないことの要請、県民・事業者へ外出、往来、イベントの開催に関する要請を行っている。

本市の感染状況についても、一週間当たりの新規感染者数は1月14日時点で238.7/10万人、一日の新規感染者数は1月14日発表が536人となるなど、急増している状況にある。

新型コロナウイルス変異株について、本市では1月14日時点で、44例のオミクロン株が確認されている。

本市においては、引き続き、市民に対して感染予防等の啓発を行うとともに、広島県等と連携して感染拡大防止に向けた取り組みを推進していく。

（委員意見）

- ・ 引き続き関係機関と連携して、感染者等への対応にあたってほしい。

（2）新型コロナウイルスワクチン接種について（資料 1 P30～40）

本市における新型コロナウイルスワクチン接種状況は1月14日時点で、対象者全体では、1回目の接種率が82.5%、2回目の接種率が82.0%となった。

本市における追加接種（3回目接種）の前倒しについて、国から示されている方針等に基づき、令和4年3月までの追加接種の実施方針を12月28日に発表した。接種時期は、医療従事者等、高齢者施設等の入所者及び従事者、介護、障害福祉の通所サービス事業所の利用者及び従事者、病院又は有床診療所の入院患者（①）は初回接種の完了から6か月経過後、①以外の高齢者（②）は7か月経過後、①及び②以外の市民は8か月経過後とした。接種券については、初回接種完了後、6か月を経過する月に送付する。また、追加接種で使用するワクチンは、初回接種時と比べてモデルナ社製ワクチンが大幅に増加することが見込まれることなどから、集団接種についてはモデルナ社製ワクチンを、医療機関による個別接種についてはファイザー社製ワクチンを使用することを基本として、接種体制を整備することとし、市民に交互接種を検討することを呼びかけている。国が作成している資料において、初回接種でファイザー社製ワクチンを受けた者について、追加接種でファイザー社製ワクチンを受けた場合と、モデルナ社製ワクチンを受けた場合のいずれにおいても、抗体価が十分上昇することが示されている。

本市においては、国から示される方針を踏まえつつ、円滑な接種の実施に努めていく。

（委員意見）

- ・ 接種体制の整備とともに適宜必要な情報提供を行い、接種の促進に努めてほしい。

2 12月の定点把握対象感染症発生状況《公開》（資料2、3）

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

区分	病 名	令和3年12月分	令和4年1月分
		報告日 12/6～1/2 現在	報告日 1/3～1/12 現在
2類	結核	5人 (患者2人、潜在性結核3人)	
3類	腸管出血性大腸菌	2人 (12/13、12/14)	
4類	つつが虫病	1人 (12/8)	
	レジオネラ症	2人 (12/19、12/23)	
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1人 (12/10)	
	水痘（入院例に限る）	1人 (12/10)	
	梅毒	9人 (12/8、12/14、12/20(3人)、 12/21、12/23、12/27、12/28)	4人 (1/4、1/7、1/11(2人))
	破傷風		1人 (1/4)
	バンコマイシン耐性腸 球菌感染症		2人 (1/4、1/11)
	百日咳	1人 (12/28)	
新型 インフル	新型コロナウイルス 感染症	78人	2839人

() は届出日

4 その他《公開》

次回開催予定日 令和4年3月23日（水） 14階第7会議室

【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：12月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症（月報対象）の長期的変動

1 患者情報

(1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、12月は1,017人で、前月比1.40とやや増加した。咽頭結膜熱は大きく増加、感染性胃腸炎は増加、手足口病、突発性発しんはやや増加、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナはほぼ横ばいであった。

(2) 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症は、感染力が強いとされる新たな変異株（オミクロン株）による感染が本市においても確認され、既に置き換わりが進んでいる。感染は、これまでにない速度で拡大しており、1日の新規感染者数は過去最多を更新した（図1）。このような状況から広島県は国に「まん延防止等重点措置」の要請を行い、1月9日～31日の期間で適用が決定された（対象区域：広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、府中町、海田町、坂町＜10市3町＞）。マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気などの基本的な対策に加え、外出の半減やPCR検査を積極的に受けるなどの感染拡大防止対策が重要である。

- 梅毒の2021年累計報告数は105件となり、2018年に並び過去最多となった（図2）。梅毒は治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあり、妊婦が感染すると流産、死産、先天梅毒を起こす可能性がある。感染したおそれがある場合は、早期に医療機関を受診することが重要である。

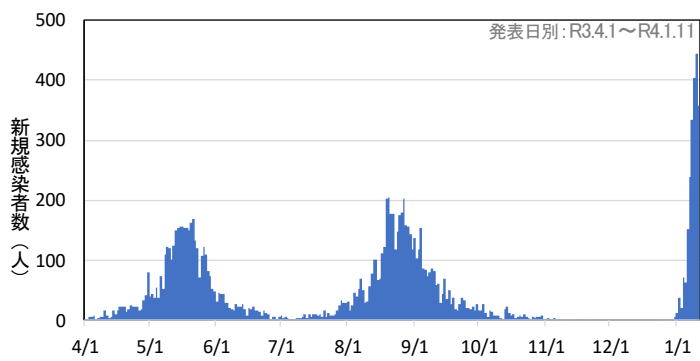


図1 新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移（広島市）

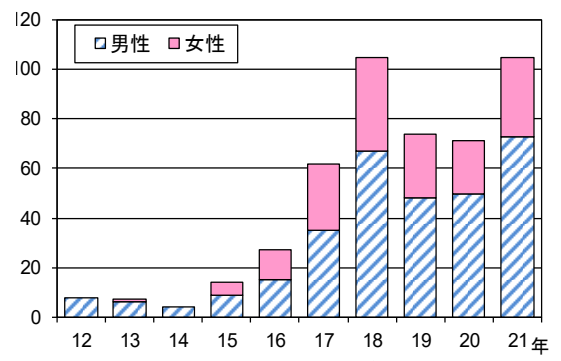


図2 梅毒の年間報告数の推移（広島市）

- 乳幼児を中心に夏季に流行する手足口病が高い水準で推移しており、広島県は手足口病警報（12月2日付）を発令した。手洗いの励行、オムツの適切な処理など感染予防対策を徹底することが重要である。
- 感染性胃腸炎が11月上旬から増加しており、2022年第1週に定点当たり5.46人の報告があった。冬季はノロウイルス等による感染性胃腸炎が増加するため、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理等の感染予防対策が重要である。
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症は、2019年までは例年0～1件の報告であったが、2020年は6件、2021年は15件と増加している。全国でも2013年～2019年は年間50～80件程度で推移していたが、2020年は136件、2021年は125件（速報値：2022年1月7日現在）となっており、今後の動向に注意が必要である。

(3) 12月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核5件（患者：2件、潜在性結核：3件）
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2件
- 4類感染症：つつが虫病 1件、レジオネラ症 2件
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1件、水痘（入院例に限る） 1件、梅毒 9件、百日咳 1件
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 78件

(4) 今後の流行予測

- 感染性胃腸炎・・・【流行中】、手足口病・・・【流行中】
- 梅毒・・・【増加傾向】発生動向に注意が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症・・・【急増中】発生動向に注意が必要である。

2 検査情報

12 月の検査結果判明分

臨床診断名	検出病原体	検体採取月	患者数
手足口病	コクサッキーウイルス A4 型	10 月	1 人
その他の呼吸器疾患（気管支炎）	ライノウイルス	11 月	1 人
その他の疾患（川崎病）	アデノウイルス 2 型	7 月	1 人
	アデノウイルス 2 型	11 月	1 人

4 人の患者から 3 種類のウイルス 4 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、アデノウイルス 2 型 2 株、コクサッキーウイルス A4 型、ライノウイルス各 1 株であった。

5類感染症定点情報
(令和3年12月解析分)

1. 週報対象(第49週～第52週)

No.	疾患名	発生 記号	報告数	定点 当たり	今後の 予測	No.	疾患名	発生 記号	報告 数	定点 当たり	今後の 予測
1	インフルエンザ		1	0.03		10	流行性耳下腺炎		4	0.17	
2	咽頭結膜熱	↑	40	1.70		11	RSウイルス感染症		7	0.29	
3	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	⇒	46	1.96		12	急性出血性結膜炎		—	—	
4	感染性胃腸炎	↗	568	24.16	流→	13	流行性角結膜炎		5	0.63	
5	水痘		16	0.68		14	細菌性髄膜炎		—	—	
6	手足口病	↗	235	9.98	流→	15	無菌性髄膜炎		—	—	
7	伝染性紅斑		2	0.08		16	マイコプラズマ肺炎		—	—	
8	突発性発しん	↗	34	1.43		17	クラミジア肺炎		—	—	
9	ヘルパンギーナ	⇒	40	1.68		18	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		—	—	

2. 月報対象(12月)

No.	疾患名	発生 記号	報告数	定点 当たり
1	性器クラミジア感染症	⇒	38	4.22
2	性器ヘルペス ウイルス感染症	↗	18	2.00
3	尖圭コンジローマ		7	0.78
4	淋菌感染症	⇒	27	3.00
5	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	⇒	19	2.71
6	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症		—	—
7	薬剤耐性 緑膿菌感染症		—	—

発生記号

前月と比較しておおむね 1:2以上の増減	↑	↓
前月と比較しておおむね 1:1.5～2の増減	↗	↘
前月と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減	⇒	⇐
ほぼ横ばい(発生件数少 数のものを含む)	⇒	

予測記号

流行始まり	流↗
流行中	流→
流行終息傾向	流↘
終息	終

全数把握感染症報告数(令和3年12月分)

第49週～第52週(12月6日～1月2日)報告分

類型	疾患名	広島市		全国	
		報告数	累積	報告数	累積
一類	1 エボラ出血熱	-	-	-	-
	2 クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-
	3 痘そう	-	-	-	-
	4 南米出血熱	-	-	-	-
	5 ベスト	-	-	-	-
	6 マールブルグ病	-	-	-	-
	7 ラッサ熱	-	-	-	-
二類	8 急性灰白髄炎	-	-	-	-
	9 結核	5	111	1,263	15,799
	10 ジフテリア	-	-	-	-
	11 重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-
	12 中東呼吸器症候群	-	-	-	-
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-
三類	15 コレラ	-	-	-	-
	16 細菌性赤痢	-	-	-	7
	17 腸管出血性大腸菌感染症	2	21	242	3,220
	18 腸チフス	-	-	1	4
	19 パラチフス	-	-	-	-
四類	20 E型肝炎	-	5	52	452
	21 ウエストナイル熱	-	-	-	-
	22 A型肝炎	-	2	6	71
	23 エキノコックス症	-	-	-	23
	24 黄熱	-	-	-	-
	25 オウム病	-	-	-	8
	26 オムスク出血熱	-	-	-	-
	27 回帰熱	-	-	2	10
	28 キャサスル森林病	-	-	-	-
	29 Q熱	-	-	-	1
	30 狂犬病	-	-	-	-
	31 コクシジオイデス症	-	-	-	-
	32 サル痘	-	-	-	-
	33 ジカウイルス感染症	-	-	-	-
	34 重症熱性血小板減少症候群	-	1	-	109
	35 腎症候性出血熱	-	-	-	-
	36 西部ウマ脳炎	-	-	-	-
	37 ダニ媒介脳炎	-	-	-	-
	38 炭疽	-	-	-	-
	39 チクングニア熱	-	-	-	-
	40 つつが虫病	1	6	159	534
	41 デング熱	-	-	1	8
	42 東部ウマ脳炎	-	-	-	-
	43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	-	-	-	-
	44 ニバウイルス感染症	-	-	-	-
	45 日本紅斑熱	-	6	9	486
	46 日本脳炎	-	-	-	3
	47 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-
	48 Bウイルス病	-	-	-	-
	49 鼻疽	-	-	-	-
	50 ブルセラ症	-	-	-	1
	51 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-
	52 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-
	53 発しんチフス	-	-	-	-
	54 ボツリヌス症	-	-	-	5
	55 マラリア	-	-	3	29
	56 野兔病	-	-	-	-
	57 ライム病	-	-	2	23
	58 リッサウイルス感染症	-	-	-	-
	59 リフトバレー熱	-	-	-	-
	60 類鼻疽	-	-	-	-
	61 レジオネラ症	2	37	121	2,112
	62 レプトスピラ症	-	-	7	34
	63 ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-
五類	64 アメーバ赤痢	-	4	38	529
	65 ウイルス性肝炎	-	6	22	201
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	10	169	2,038
	67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	1	-	22
	68 急性脳炎	-	2	25	334
	69 クリプトスポリジウム症	-	-	-	5
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	11	178
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	57	646
	72 後天性免疫不全症候群	-	7	89	1,047
	73 ジアルジア症	-	-	2	36
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	15	194
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	1
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	120	1,388
	77 水痘(入院例に限る。)	1	1	30	298
	78 先天性風しん症候群	-	-	-	1
	79 梅毒	9	105	739	7,873
	80 播種性クリプトコックス症	-	1	17	159
	81 破傷風	-	2	4	93
	82 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-
	83 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	15	9	125
	84 百日咳	1	3	107	746
	85 風しん	-	-	-	12
	86 麻しん	-	-	1	6
	87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	1	5
新型インフル	88 新型コロナウイルス感染症 ※	78	13,268	5,837	1,729,096

※全国データは、厚生労働省HPから引用(空港検疫及びチャーター便帰国者を除く)。広島市、全国の累積は2020年からの合計。